



2015年

3月20日発行

拝啓

寒さの厳しい時期が過ぎ、日ごとに暖かさも感じるようになりました。桜の季節になりましたが、たくさんお花見はできましたか？
今まで行ったことのない場所や、新たな出会いを求めて、一度図書館を巡ってみてはいかがでしょうか。思ってもいなかった、あなただけの発見があるかもしれません。あなたに、素敵な出会いが訪れますように…

かしこ



*** 今月のおすすめ本 ***

『さくら』 西加奈子 / 著

(請求記号：913.6/N815/2/B12)

少し風変わりな五人と優しい一匹の物語です。

色とりどりの春に始まり、夏、秋、冬を巡ります。彼らに、そして誰にでも巡ってくる季節の中で起こった小さなある「奇跡」の物語です。

この本は、時間を惜しまずに最後まで読み進めると、いつもより少し優しく、暖かい気持ちになれるオススメの一冊です♪ さとみ

2015年4月～5月 カレンダー



4月

日	月	火	水	木	金	土
			1 	2 	3 	4
5 休館	6 	7 	8 	9 	10 	11
12 休館	13 	14 	15 	16 	17 	18
19 休館	20 	21 	22 	23 	24 	25
26 休館	27 	28 	29 	30 		

8:30～20:00

9:00～16:30

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1 	2
3 休館 憲法記念日	4 休館 みどりの日	5 休館 こどもの日	6 休館 振替休日	7 	8 	9
10 休館	11 	12 	13 	14 	15 	16
17 休館	18 	19 	20 	21 	22 	23
24/31 休館	25 	26 	27 	28 	29 	30



LiLian 活動レポート

今回は、リブレターの人気コーナー「大すきな先生にインタビューに行こう」の裏側についてお話します!!

【リブレターのインタビューとは…】

このコーナーは、リブレターチームのメンバー8 人が大好きな先生にインタビューをしに行きます!!リブレターを読んできた人に先生の意外な一面を楽しく紹介していく企画で、今回で11 回目になりました♪



【インタビューの流れ】

インタビュアーは、まず先生に大まかな質問を考えます。その後、インタビューの中で、様々な話を聞きながら、先生の普段見せない雰囲気や発言をメモしていきます。インタビュアーではない子も、先生の話した内容で気になった事をメモしたり、質問をします。私たちの熱意が通じたのか、どの先生も快く話して下さいます。

【インタビューしてよかったこと】



毎回、先生方と打ち解けて、最後には笑いが起こったり、稀ですが先生が誰にも見せたことのない宝物を見せてくれたりします♡
めったに入れない豪華なお部屋に入ることもできました!

リブレターに毎回、素敵なイラストを描いてくれている

人間科学部 芸術・芸術療法学科の野々部朝子さんをご紹介します♡



ひつじ年にちなんで。実はこれ以外にも
4パターンのヒツジを描いてくれていたんですよ。
(2014年11月号)



レシピ本とアリのコラボ！
かわいすぎる～。このアイデア
力に脱帽です。
(2015年1月号)

♡野々部さんからのコメント♡

「イラストの依頼を受け、ぱっと、虫や動物が本を読んでいたら面白いなあと、
思い付きました。図鑑を見ながら描く中で、こんな表情・動きをするのか、
という様々な発見がありました。イラストを描くときは、シュールな世界観で
ありながら、本と生き物を、違和感無く共存させるように工夫しています！」

野々部さんには、4月から引き続きイラストを描いてもらいます！

これからもぜひお楽しみ下さい♪♪♪

LiLian Interview

大すきな先生に

インタビューに行こう⑪

文学部 ＊ 小松史生子先生

お

オカルト・ミステリーならお任せあれ!

お

にゃんこの生き様が大好き!

お

気さくでとてもお話し上手!



最近のマイブームを教えてください!

最近のマイブームはインテリアで、研究室を昔の映画に出てくる

レトロで綺麗な大学教授の部屋の様にしたいなと思っています。

脳内で(笑)実際は居場所が本に浸食されているのが悩みですね…。

オススメのオカルトスポットを教えてください!

尼ヶ坂は今も目撃談の出るパワースポットですが、女の子一人で

夜のフィールドワークに行っちゃはいけませんよ!実は愛知県とオカルトは

親密な関係で、「あいち妖怪保存会」や東海地方のオカルトスポットを

取り上げたドラマ『ダムド・ファイル』といったものもあるのです!

先生にも怖いもの、苦手なものはありますか?

節足動物で足が四本以上のものは御免こうむりたいですね…。

つまり、虫が苦手です。シャーッと走るやつがダメですね(笑)

へびや爬虫類は平気なのですが…。

最近テンションが上がったことを教えてください！

最近、映画『トランスポーター』を見てジェイソン・ステイサムに、

ときめいていました！海外の人は禿げていてもかっこよくてセクシーですよ！

“セクシーなおハゲさん”がブームです！（笑）

今の研究分野に興味を持ったのは何故ですか？

子供の頃から母の愛読書である海外ミステリーを読んだり、両親の隣で

角川映画を見たりと、空気を吸うようにミステリーに触れていました。

昔は大学で研究できる範囲が狭くて、私も芥川龍之介について研究

しようと思っていたのですが、同じような学生が沢山いたのでテーマを

変えることになり、江戸川乱歩について卒業論文を書いたのが

運の尽きで、そこから一直線ですね（笑）

子供の時にインパクトを受けたものが、今にも深く影響しています。

先生の大好きな猫ちゃんの魅力について教えてください！

私は猫を兄弟にして育っていて、昔は「いじめだ！」と思っていましたが

今考えると彼なりのしつけだったのではないかということもありまして…

なので、猫には思い入れが強いですね。

また猫の生き様も好きで、犬は社会的な動物なので人に序列をつけて絆を

育むのですが、猫はそれと無縁の単独行動の動物なので、そういう所が性に

合います（笑）

＊『カラマーズフの兄弟』 ドストエフスキー著

社会人になると中々時間が取れなくなってしまうので、

若いうちに大長編小説を読んでほしいです。

これは「父親を殺したのは誰か」という犯人探しのミステリーなのですが、

三人の兄弟のキャラクターが立っていて楽しく読めます。

＊『花物語』 吉屋信子著

花にちなんだ女の子の話の短編集になっています。

ミッションスクールの乙女文化が魅力的に描かれているので、

読むと「金城生でよかった」と思える本ですよ！

女子校を舞台とした女の子同士の友情が煌びやかに書かれていて、

さらに明治から大正にかけてのレトロな雰囲気満載であるので、

是非金城生に読んでもらいたいです。

《編集後記》 小松先生はとても気さくな先生で、楽しくインタビューをすることができました。どんな話題でもすらすら答えて下さる先生の知識の豊富さに改めて感動しました！研究室に所狭しと並べられた本の数々に、先生の知識の海を垣間見た気がします。いつか、レトロな書齋になった先生の研究室にお邪魔したいなと思っています！（笑）

みさ

